

○九四 奥村文庫目錄

目次

奥村文庫

○九四・〇	総記・附郷土志料	一五―二一・二一―二三頁
○九四・一	宗教・哲学・教育	二一・二四頁
○九四・二	法律・政治	二一頁
○九四・三	経済・社会	
○九四・四	産業・交通・通信	
○九四・五	理学・医学・衛生	
○九四・六	兵事	二一―二三頁
○九四・七	芸術・諸技	二三頁
○九四・八	文学・語学	二三・二四・二六頁
○九四・九	歴史・地誌	二三頁

〇九三 羅月窟文庫

〇九三・七 藝 術

容齋藤田翁遺墨 (寫)(自筆) 藤田維正(容齋) 一〇六・七一五

〇九三・八 文學・語學

文 衛 藤田維正(容齋)編 益智 明治一八 館二〇六・八一七

〇九四 奧村文庫

〇九四・〇 總 記 附郷土志料

安政元丑寅御附方御軍粧一件帳之内寫(寫) 奧村榮通寫 安政元 一〇六・〇一三

安政二乙卯年組用方手留(寫) 奧村榮通寫 一〇六・〇一七

安政三年 筑前守様御參府御道中方御用覺留(寫) 一〇六・〇一九

安政三 八朔御祝儀御獻上物・御名代之御使者相動候始終之留(寫) 一〇六・〇一六

安政三年ヨリ年々同浦賀表等々異國船渡來一件に付江 中御沙汰方附録ニ記 戸表々追々申來候御用狀等之寫(寫) 一〇六・〇一六

安政四年同苗内膳家事向之儀ニ付示(寫) 奧村榮通寫 一〇六・〇一六

安政四年寄中公事場々出坐之節門内挾箱爲持方之義 在江戶ニ付心得方仰出之趣等申遣候段返紙面等寫(寫) 一〇六・〇一五

安政四丁巳年ヨリ 在江戶中御返内狀等寫 奧村榮通寫(寫) 一〇六・〇一三

安政大藏大輔様御慎方之儀ニ付被仰出候御親翰 極秘極密ニ拜寫 且富山表御政事向等風聞書寫(寫) 一〇六・〇一三

安政五戊御用番方等出紙面之内寫(寫) 奧村榮通寫 一〇六・〇一六

安政六年年頭御禮之節土佐守茂御紋付之大 紋着用ニ付叙爵之人々より岡島左膳等々申(寫) 奧村榮通寫 一〇六・〇一三

入道々申上候趣被仰出方等極秘之手留等 (一) 同右 (二) 加藤三郎左衛門より指出候安永七年以來之同人席に有之候留帳之書拔寫 (三) 播磨守より被指出候同人方先代之書キ物等之寫

一族の者保護方前田家へ進言の草稿(寫) 一〇六・〇一七

一心明顯錄(一名寛政四年壬子八月)寫(著者自筆) 寛政 四 一〇六・〇一〇

葬 用 集(欠本)(寫) 五〇六・〇一三

内田縣令ノ檄文ニ對スル意見書(寫) 奧村榮通寫 一〇六・〇一七

易 然 談 卷一・卷二(寫)(著者自筆) 奧村榮實(止齋) 二〇六・〇一〇

越後口戰爭雜記(寫) 奧村榮通寫 一〇六・〇一八

越後國方面前田土佐守派出ノ件ニ付意見書(寫) 一〇六・〇一九

於江御誕生墓目之記書拔(寫) 奧村榮通寫 一〇六・〇一〇

於江御親翰帳之内書拔(寫) 奧村榮通寫 三〇六・〇一六

第一册 享和三年九月ヨリ文化年中迄 第三册 弘化二年ヨリ年々 第二册 文政年中ヨリ天保元年迄

於江内狀等寫 嘉永二年(寫) 奧村榮通寫 一〇六・〇一四

於江 每日書立并日記之内書拔(寫) 奧村榮通寫 三〇六・〇一五

第一册 文化元年より同一三年迄 第三册 弘化二年正月より同五年三月迄 第二册 文政年中より天保一五年迄 第四册 嘉永六年より年々

於江 每日帳等書拔早繰留内書拔(寫) 奧村榮通寫 一〇六・〇一四

奧村家同姓由緒(寫) 奧村榮通寫 一〇六・〇一八

御 觸 技 書(寫) 奧村榮通寫 三〇六・〇一三

第一 文化八年至文政三年 第三 文政八年至同十三年 第二 文政四年至同七年 覺 書(寫) 一〇六・〇一五

爲御禮年寄中宅相動候品附御奏者所之罷 出諸御禮御用番々相達及指圖候御禮等(寫) 奧村榮通寫 一〇六・〇一七

御續書之寫 (寫) 奥村榮通寫 一〇九四・〇一六

嘉永元年十一月御道中方御用覺留 (寫) 奥村榮通寫 一〇九四・〇一六

嘉永二年同 三年於江府組頭より相伺御作法書之内寫 (寫) 奥村榮通寫 一〇九四・〇一七

嘉永六年 嘉永七年 海防方之儀ニ付被仰出并僉議之趣伺之品等略留 (寫) 一〇九四・〇一三 奥村榮通寫

嘉永七甲筑前守様御親翰之寫 (寫) 奥村榮通寫 一〇九四・〇一五

於金 御誕生墓目之記書拔上下 (寫) 奥村榮通寫 一〇九四・〇一四

加藩熙康曆 (寫) 奥村榮實寫 一〇九四・〇一六

質直君加陽年代記拔書 (寫) 奥村榮通寫 一〇九四・〇一七

加陽年代要覽 附 (寫) 奥村榮通編寫 一〇九四・〇一九

家老共手合日記之内拔書 (寫) 奥村榮通寫 一〇九四・〇一九

第一册 明和乙酉年ヨリ享和三亥年迄・尙寬君御代家老共手合日記之内拔書 第二册 文化元甲子年ヨリ文政丁亥年迄・諸親君御代家老共手合日記之内拔書 第三册 文政一戊子年ヨリ天保一五甲辰年迄・諸親君心光君御代家老共手合日記之内拔書

觀光丸アメリカ航海記 (寫) 吉田淳庵寫 一〇九四・〇一六

官私隨筆 (寫) (著者自筆) 奥村榮實(止齋) 一〇九四・〇一七

第一册 目録 (奥村榮通寫) 第二册 卷一五、文政五年三月より端午迄 第三册 卷二八、文政八年四月一五日より八月一四日迄 第四册 卷二九、文政八年八月一五日より同九年二月一〇日迄 第五册 卷三〇、文政九年二月一〇日より七月一〇日迄 第六册 卷三一、文政九年七月一〇日より同一年正月朔日迄 第七册 卷三二、文政一〇年正月二日より四月一日迄 第八册 卷三三、文政一〇年四月一三日より八月迄 第九册 卷三四、文政一〇年九月朔日より一二月八日にいたる 第一〇册 卷三五、文政一〇丁亥一二月八日より同一年二月一九日迄 第一一册 卷三六、文政一一年二月一九日より六月三日迄 第一二册 卷三七、文政一一年六月二四日より八月一六日迄 第一三册 卷三八、文政一一年八月一七日より同一年正月一六日迄 第一四册 卷三九、文政一二年正月一七日より六月二四日迄 第一五册 卷四〇、文政一二年六月二五日より一二月二三日迄

第一六册 卷四一、文政一二年一〇月二四日より同一年八月二九日迄

官事 拙筆 (寫) (編者自筆) 奥村榮通編著 一〇九四・〇一七

第一册 目録 一、弘化元年一月二日より嘉永元年六月三日迄 自一之卷 至一五之卷

第二册 同 二、嘉永元年六月二日より同三年四月二四日迄 自一六之卷 至二五之卷

第三册 同 三、嘉永三年四月二五日より同五年四月九日迄 自二六之卷 至三五之卷

第四册 同 四、嘉永五年四月六日より同六年四月四日迄 自三六之卷 至四〇之卷

第五册 卷一、弘化元年一月二日より同二年三月二八日迄

第六册 卷二、弘化二年四月朔日より同晦日迄

第七册 卷三、弘化二年五月朔日より同晦日迄

第八册 卷四、弘化二年八月朔日より同七月晦日迄

第九册 卷五、弘化二年一月朔日より同二月二九日迄

第一〇册 卷六、弘化三年正月朔日より同四月二九日迄

第一一册 卷七、弘化三年五月朔日より同閏五月二九日迄

第一二册 卷八、弘化三年六月朔日より同九月晦日迄

第一三册 卷九、弘化三年十月朔日より同二月二九日迄

第一四册 卷一〇、弘化四年正月朔日より同三月三日迄

第一五册 卷一一、弘化四年三月朔日より同五月二九日迄

第一六册 卷一二、弘化四年六月朔日より同一月二九日迄

第一七册 卷一三、弘化四年一月一六日より同二月二九日迄

第一八册 卷一四、弘化五年正月朔日より同四月五日迄

第一九册 卷一五、弘化五年四月六日より同六月二〇日迄

第二〇册 卷一六、嘉永元年六月二日より同八月二九日迄

第二一册 卷一七、嘉永元年九月朔日より同一月二九日迄

第二二册 卷一八、嘉永元年一月一六日より同二年二月二九日迄

第二三册 卷一九、嘉永二年三月朔日より同四月二九日迄

第二四册 卷二〇、嘉永二年閏四月朔日より同五月晦日迄

第二五册 卷二一、嘉永二年六月朔日より同八月二九日迄

第二六册 卷二二、嘉永二年九月朔日より同一月二九日迄

第二七册 卷二三、嘉永二年一月二三日より同三年正月二日迄

第二八册 卷二四、嘉永三年正月一三日より同三月一四日迄

第二九册 卷二五、嘉永三年三月一五日より同四月二四日迄

第三〇册 卷二六、嘉永三年四月二五日より同七月二九日迄

第三一册 卷二七、嘉永三年八月朔日より同九月二九日迄

第三二册 卷二八、嘉永三年一〇月朔日より同二月晦日迄

第三三册 卷二九、嘉永四年正月朔日より同二月晦日迄

第三四册 卷三〇、嘉永四年三月朔日より同五月五日迄

第三五册 卷三一、嘉永四年五月六日より同六月二五日迄

第三六册 卷三二、嘉永四年六月二六日より同九月一五日迄

第三七册 卷三三、嘉永四年九月一六日より同十一月一十九日迄

第三八册 卷三四、嘉永四年十二月二〇日より同五年二月晦日迄

第三九冊 卷三五、嘉永五年閏二月朔日より同四月五日迄
 第四〇冊 卷三六、嘉永五年四月六日より同六月二日迄
 第四一冊 卷三七、嘉永五年六月二三日より同八月二九日迄
 第四二冊 卷三八、嘉永五年九月朔日より同十一月四日迄
 第四三冊 卷三九、嘉永五年十一月一日より同十二月一日迄
 第四四冊 卷四〇、嘉永六年二月一日より同四月四日迄

學校方覺書 一、二(寫)(編者自筆) 奧村榮實(止齋)編著

熙康小鑑(寫) 奧村榮實 寫

舊知事並貫屬家祿十分一被立置候分御貸下願外(寫)

金都柱石上下(寫) 奧村尙寬(慎齋)編著

榮實玉詠集(寫) 奧村榮實(止齋)著

旭洲來翰等(寫)

榮實玉文集(寫) 奧村榮實(止齋)著

劔梅輪内御紋之一事覺書(寫) 有澤森右衛門著

見聞錄、同附錄、同外集、同後集、寫(編者自筆)

第一冊 天地附水火金玉土石家宅等 第一〇冊 器財附寶貨

第二冊 神鬼附佛家仙術等 第一一冊 醫藥・病痼・願養等附咒法

第三冊 時候附曆法 第一二冊 附錄文籍

第四冊 人品・古人・人物・親屬等 第一三冊 見聞錄外集・文籍一

第五冊 支體・附相法 第一四冊 同文字字義・藝才

第六冊 武備附武器 第一五冊 同武備器財雜類

第七冊 藝才・禮樂・律令・書數・故實等 第一六冊 同人品・官位支體

第八冊 字義・音韻・和訓 第一七冊 見聞錄後集文事

第九冊 服食

見聞錄(寫) 奧村尙寬(慎齋)編 二〇九四・〇一五七

元治元年 京都詰中於御國表御用番等より觸渡狀之内寫(寫) 一〇九四・〇一〇〇

元治元年 京都詰中御用狀等之内并聞番言上紙面等之内寫(寫) 一〇九四・〇一八二

元治於京都變事之筋堀川節等出張之人々手前之儀に付相尋
 子年岡田助右衛門等より委曲之始末柄書出候帳冊等之寫 (寫) 奧村榮通寫 一〇九四・〇一三五

元治元極秘愚存心付之趣筆記(寫) 奧村榮通寫 一〇九四・〇一九三

元治元年御所警衛顛末(寫) 奧村榮通寫 一〇九四・〇一九七

元治 錄一至一五(寫) 奧村榮通寫 四〇九四・〇一九九

元祿六年二月一六日覺書(寫) 奧村榮通寫 一〇九四・〇二〇四

弘化元年ヨリ日記(寫) 奧村榮通編寫 一〇九四・〇二〇八

弘化四年三月御參觀御道中日記之内書拔(寫) 奧村榮通寫 一〇九四・〇二一三

弘化五年 近江守殿靜之介殿を養子に被仰付候に付成立方(寫) 奧村榮通寫 一〇九四・〇二一五

公武御一和御周旋方用要旨趣之大略(寫) 奧村榮通寫 一〇九四・〇二四〇

國學稽古方二付(寫) 奧村榮通寫 一〇九四・〇二六六

之行諸事御心得御留帳(寫) 奧村榮通寫 一〇九四・〇二七

御參内諸事御作法(寫) 奧村榮通寫 一〇九四・〇二二三

御在府中之大概(寫) 奧村榮通寫 一〇九四・〇二一八

御親翰帳之内書拔・同附錄(寫) 奧村榮通寫 三〇九四・〇二七五

第一冊 元治元年ヨリ慶應元年迄之荒増少々宛書拔 附錄・文久三癸亥年 第二冊 附錄・文久四甲子年 第三冊 附錄・文久四甲子年

御年表 上下(寫) 奧村榮通寫 二〇九四・〇一六六

御用方手留、同附錄(寫)(編者自筆) 奧村榮通編 二〇九四・〇一六九

第一冊 目錄五、自四一之卷至四七之卷、嘉永六年四月五日より安政二年三月一三日迄

第二冊 目錄六、安政二年三月一五日より同三年九月五日迄、自四八之卷至五二之卷

第三冊 目錄七、安政三年九月六日より同五年一二月晦日迄、自五三之卷至六一之卷

- 第四冊 目錄八、安政六年正月元日より文久元年一〇月六日迄、自六二之卷至七一之卷
- 第五冊 目錄九、文久元年一〇月一〇日より同三年六月二二日迄、自七二之卷至七八之卷
- 第六冊 目錄一〇、文久三年六月二三日より元治元年七月晦日迄、自七九之卷至八二之卷
- 第七冊 目錄一一、元治元年八月朔日より慶應三年九月一四日迄、自八三之卷至八九之卷
- 第八冊 目錄一二、慶應三年九月一五日より明治二年五月九日迄
- 第九冊 目錄一三、明治二年五月一〇日より同四年九月四日迄
- 第一〇冊 目錄一四、明治四年九月より同七年五月迄
- 第一一冊 卷四一、嘉永六年四月五日より同七月二九日迄
- 第一二冊 卷四二、嘉永六年八月朔日より同一月二日迄
- 第一三冊 卷四三、嘉永七年正月朔日より同四月晦日迄
- 第一四冊 卷四四、嘉永七年五月朔日より同七月晦日迄
- 第一五冊 卷四五、嘉永七年閏七月朔日より同一月九日迄
- 第一六冊 卷四六、嘉永七年一月一〇日より同三月二二日迄
- 第一七冊 卷四七、安政二年正月一六日より同三月三日御發駕迄
- 第一八冊 卷四八、安政二年三月一五日より同八月一三日迄
- 第一九冊 卷四九、安政二年八月一五日より同三年正月六日迄
- 第二〇冊 卷五〇、安政三年正月七日より同三年三月二九日迄
- 第二一冊 卷五一、安政三年四月朔日より同六月一〇日迄
- 第二二冊 卷五二、安政三年六月一一日より同九月五日迄
- 第二三冊 卷五三、安政三年九月六日より同十一月二日迄
- 第二四冊 卷五四、同四年正月元日より同三月二四日迄
- 第二五冊 卷五五、同四年三月二五日より同五月二一日迄
- 第二六冊 卷五六、安政四年閏五月二二日より同九月晦日迄
- 第二七冊 卷五七、同四年一〇月朔日より同五年正月七日迄
- 第二八冊 卷五八、同五年正月八日より同四月五日迄
- 第二九冊 卷五九、同五年四月六日より同六月二九日迄
- 第三〇冊 卷六〇、同五年七月朔日より同一〇月一〇日迄
- 第三一冊 卷六一、安政五年一〇月一一日より同十二月晦日迄
- 第三二冊 卷六二、同六年正月元日より同四年四月一五日迄
- 第三三冊 卷六三、同六年四月一六日より同七月二九日迄
- 第三四冊 卷六四、同六年八月朔日より同十一月四日迄
- 第三五冊 卷六五、同六年一二月朔日より同二月四日迄
- 第三六冊 卷六六、萬延元年閏三月二二日より同六月二二日迄
- 第三七冊 卷六七、同元年六月一一日より同九月晦日迄
- 第三八冊 卷六八、同元年一〇月朔日より同一年二月晦日迄
- 第三九冊 卷六九、同二年正月元日より同二月晦日迄
- 第四〇冊 卷七〇、文久元年三月朔日より同六月晦日迄
- 第四一冊 卷七一、文久元年七月朔日より同一年一〇月七日迄
- 第四二冊 卷七二、文久元年一〇月一〇日より同二年正月二八日迄
- 第四三冊 卷七三、同二年二月朔日より同五年五月一〇日迄

- 第四四冊 卷七四、同二年五月一一日より同八月六日迄
- 第四五冊 卷七五、同二年八月七日より同一年一〇月一〇日迄
- 第四六冊 卷七六、文久二年一〇月一一日より同一年一二月二九日迄
- 第四七冊 卷七七、同三年正月元日より同三年三月三日迄
- 第四八冊 卷七八、同三年三月二二日より同六月二二日迄
- 第四九冊 卷七九、同三年六月二三日より同一年一〇月五日迄
- 第五〇冊 卷八〇、同三年一〇月六日より同四年一月二九日迄
- 第五一冊 卷八一、文久四年二月朔日より元治元年五月二四日迄
- 第五二冊 卷八二、元治元年五月二五日より同七月晦日迄
- 第五三冊 卷八三、同八月朔日より同二年四月一六日迄
- 第五四冊 卷八四、慶應元年四月一九日より同一年二月二八日迄
- 第五五冊 卷八五、同二年正月朔日より同四月二四日迄
- 第五六冊 卷八六、慶應二年四月二六日より同八月二日迄
- 第五七冊 卷八七、同二年八月四日より同一年一二月二九日迄
- 第五八冊 卷八八、同三年正月朔日より同一年四月二日迄
- 第五九冊 卷八九、同三年四月二三日より同一年九月一四日迄
- 第六〇冊 卷九〇、同三年九月一五日より同一年一二月二一日迄
- 第六一冊 卷九一、慶應三年一二月二二日より同四年三月八日迄
- 第六二冊 卷九二、同四年三月九日より同六月一四日迄
- 第六三冊 卷九三、同四年六月一五日より同一年九月二九日迄
- 第六四冊 卷九四、明治元年一〇月朔日より同一年二月二九日迄
- 第六五冊 卷九五、同二年正月朔日より同一年五月九日迄
- 第六六冊 卷九六、明治二年五月一〇日より同一年九月二二日迄
- 第六七冊 卷九七、同二年九月二七日より同一年一〇月一〇日迄
- 第六八冊 卷九八、同三年一〇月一七日より同一年九月四日迄
- 第六九冊 卷九九、同四年九月より同一年五月迄
- 第七〇冊 卷一〇〇、同七年五月より同一年一二月迄
- 第七一冊 附錄目次一、安政五年正月より文久三年七月迄
- 第七二冊 二、文久三年七月より明治元年九月迄
- 第七三冊 三、明治元年九月より同三年六月迄
- 第七四冊 同 三、明治元年九月より同三年六月迄
- 第七五冊 附錄一、嘉永六年六月より安政四年迄
- 第七六冊 同 六、文久三癸亥年七月より同一年九月二〇日迄
- 第七七冊 同 七、文久三癸亥年一〇月より同四年三月迄
- 第七八冊 同 八、文久四年二月より同一年七月迄
- 第七九冊 同 九、元治元年七月より同一年九月迄
- 第八〇冊 同 一〇、元治元年九月より同一年八月迄
- 第八一冊 同 一一、慶應二年五月より同一年九月迄
- 第八二冊 同 一二、明治元年九月より同一年六月迄

御領國牛馬調理方仕法帳 (寫) 奥村榮通寫 嘉永三一一〇番〇二二
 才川淺野川等洪水ニ付水付家等報告 (寫) 一〇番〇一三

雜錄備考抄附錄 略目・卷一至卷一七 (寫) 一八〇五〇・〇三三

雜錄備考抄附錄 略目・卷一至卷一四內卷一・九・一〇欠 (寫) 二〇〇五〇・〇三三

雜錄備考抄附錄餘毫 目錄・卷一至卷七 (寫) 八〇〇五〇・〇三三

雜錄備考鈔附錄餘毫 略目・卷一至卷六 (寫) 七〇〇五〇・〇三三

靜之介殿幼少中後見之儀ニ付諸事留帳 (寫) (著者自筆) 三〇〇五〇・〇三七

上、嘉永四年六月一七日より同五年二月二十九日迄 奧村 榮通
中、嘉永六年正月より同七年迄之荒増
下、安政二年正月より同三年三月迄之荒増 附、覺書等品々

誄 詞 (寫) 奧村 榮通 寫 一〇〇五〇・〇三〇

私備 忘 記 後集 卷二・卷四 寫(編者自筆) 奧村尙寬(慎齋)編 二〇〇五〇・〇三六

袖裏見聞錄 (寫) 奧村 榮實 編 九〇〇五〇・〇三六

第一冊 目表 第六冊 卷六 (奧村尙寬編) 三三〇五〇・〇三三

第二冊 卷一 (奧村尙寬編) 第七冊 卷八 (奧村榮實編) 二四〇五〇・〇三三

第三冊 卷二 (同) 第八冊 卷九 (同) 二五〇五〇・〇三三

第四冊 卷三 (同) 第九冊 袖裏見聞別錄 (奧村尙寬編) 二六〇五〇・〇三三

第五冊 卷四 (同) 三三〇五〇・〇三三

袖裏雜記 (寫) 第一二冊 袖裏雜記卷一〇 第二三冊 袖裏雜記卷二四 三三〇五〇・〇三三

第一冊 袖裏便案集 第一三冊 同 卷一 第二四冊 同 卷二五 三三〇五〇・〇三三

第二冊 袖裏雜記便案 第一四冊 同 卷二 第二五冊 同 卷二六 三三〇五〇・〇三三

第三冊 同 下 第一五冊 同 卷三 第二六冊 同 卷二七 三三〇五〇・〇三三

第四冊 袖裏雜記目錄一 第一六冊 同 卷四 第二七冊 同 卷二八 三三〇五〇・〇三三

第五冊 同 二 第一七冊 同 卷五 第二八冊 同 卷二九 三三〇五〇・〇三三

第六冊 同 三 第一八冊 同 卷六 第二九冊 同 卷三〇 三三〇五〇・〇三三

第七冊 同 四 第一九冊 同 卷七 第三〇冊 同 卷三一 三三〇五〇・〇三三

第八冊 袖裏雜記卷五 第二〇冊 同 卷八 第三一冊 同 卷三二 三三〇五〇・〇三三

第九冊 同 卷六 第二一冊 同 卷九 第三二冊 同 卷三三 三三〇五〇・〇三三

第一〇冊 同 卷八 第二二冊 同 卷二〇 第三三冊 同 卷三四 三三〇五〇・〇三三

第一二冊 同 卷九 第二三冊 同 卷二二 第三四冊 同 卷三五 三三〇五〇・〇三三

第三冊 袖裏雜記補綴卷一 第一〇冊 同 卷九 二〇〇五〇・〇三三

第四冊 同 卷二 第一一冊 同 卷一〇 二〇〇五〇・〇三三

第五冊 同 卷三 第一二冊 同 卷一一 二〇〇五〇・〇三三

第六冊 同 卷四 第一三冊 同 卷一二 二〇〇五〇・〇三三

第七冊 同 卷五 第一四冊 同 卷一三 二〇〇五〇・〇三三

第八冊 同 卷六 第一五冊 同 卷一四 二〇〇五〇・〇三三

第九冊 同 卷七 第一六冊 同 卷一五 二〇〇五〇・〇三三

袖裏雜記別集 卷一・卷二 (寫) (編者自筆) 奧村尙寬(慎齋)編 二〇〇五〇・〇三三

袖裏雜記零餘後錄目錄 (寫) 一〇〇五〇・〇三七

袖裏雜記零餘前錄 (寫) 四〇〇五〇・〇三六

卷一、自貞享三年一月一四日至元祿元年一月一〇日 二〇〇五〇・〇三六

卷二、自元祿元年一月一一日至同三年六月一九日 二〇〇五〇・〇三六

卷三、自元祿三年六月一九日至同五年九月四日 二〇〇五〇・〇三六

卷四、自元祿五年九月五日至同九年六月四日 二〇〇五〇・〇三六

袖裏雜記零餘別錄 (寫) 一〇〇五〇・〇三六

袖裏雜記零餘錄 (寫) 一九〇五〇・〇六一

第一冊 目表 第一冊 同 卷一 一九〇五〇・〇六一

第二冊 同 卷二 一九〇五〇・〇六一

第三冊 同 卷三 一九〇五〇・〇六一

第四冊 卷八、自元祿一六年八月至同一年七月 一九〇五〇・〇六一

第五冊 卷九、自元祿一六年八月至同一年七月 一九〇五〇・〇六一

第六冊 卷一〇、自元祿一七年二月二四日至同一年七月二三日 一九〇五〇・〇六一

第七冊 卷一一、自寶永元年七月二二日至同一年一月一五日 一九〇五〇・〇六一

第八冊 卷一二、自寶永元年七月二二日至同一年一月一五日 一九〇五〇・〇六一

第九冊 卷一三、自寶永二年四月一七日至同一年九月一七日 一九〇五〇・〇六一

第一〇冊 卷一四、自寶永二年四月一七日至同一年九月一七日 一九〇五〇・〇六一

第一一冊 卷一五、自寶永三年二月一四日至同一年五月二七日 一九〇五〇・〇六一

第一二冊 卷一六、自寶永三年五月二七日至同一年一〇月五日 一九〇五〇・〇六一

第一三冊 卷一七、自寶永三年十月六日至同一年五月五日 一九〇五〇・〇六一

第一四冊 卷一八、自寶永四年五月六日至同一年一月二日 一九〇五〇・〇六一

第一五冊 卷一九、自寶永四年一月一三日至同一年四月末 一九〇五〇・〇六一

第一六冊 卷二〇、自寶永五年四月末至同一年七月 一九〇五〇・〇六一

第一七冊 卷二一、自寶永五年八月至同一年九月二六日 一九〇五〇・〇六一

第一八冊 卷二二、自寶永六年七月一〇日至同一年九月四日 一九〇五〇・〇六一

第一九冊 卷二三、自寶永六年九月四日至同一年二月二六日 一九〇五〇・〇六一

第一〇冊 卷二四、自寶永六年九月四日至同一年二月二六日 一九〇五〇・〇六一

第一一冊 卷二五、自寶永六年十二月二六日至同一年三月 一九〇五〇・〇六一

第一二冊 同 卷二六 一九〇五〇・〇六一

第一三冊 同 卷二七 一九〇五〇・〇六一

第一四冊 同 卷二八 一九〇五〇・〇六一

第一五冊 同 卷二九 一九〇五〇・〇六一

第一六冊 同 卷三〇 一九〇五〇・〇六一

第一七冊 同 卷三一 一九〇五〇・〇六一

第一八冊 同 卷三二 一九〇五〇・〇六一

第一九冊 同 卷三三 一九〇五〇・〇六一

第二〇冊 同 卷三四 一九〇五〇・〇六一

第二一冊 同 卷三五 一九〇五〇・〇六一

第二二冊 同 卷三六 一九〇五〇・〇六一

第二三冊 同 卷三七 一九〇五〇・〇六一

第二四冊 同 卷三八 一九〇五〇・〇六一

正徳年中ヨリ毎日帳書拔早繰等内書拔 (寫) 奥村榮通寫
年々次第不同
書 簡 (寫) 一〇九四・〇四

奥村河内守書簡原稿一通
奥村河内守ヨリ村井又兵衛宛書簡原稿一通
村井又兵衛ヨリ奥村河内守宛書簡一通
前田土佐守ヨリ奥村河内守宛書簡一通
横山三左衛門ヨリ奥村河内守宛書簡一通
眞龍院様御七十御賀十二月繪御屏風和歌 (寫) 奥村榮通寫 一〇九四・〇三二

自警編草藁 一至三 (寫) (著者自筆) 奥村尙寛(慎齋) 三〇九四・〇三三
一、天明七年ヨリ 二、寛政元年ヨリ 三、寛政元年三月一日ヨリ

時候廻勤等記 (寫) (著者自筆) 奥村榮通(從之) 三〇九四・〇三八

第一册 文政一〇丁亥年、文政一一戊子年
第二册 文政一二己丑年、文政一三庚寅年
第三册 天保二辛卯年、天保三壬辰年、天保四癸巳年、天保五甲午年

常州武田彦九郎御老中ニ指出之一卷等寫 (寫) 一〇九四・〇三三

叙爵被仰付候始終之覺 (寫) 奥村榮通寫 一〇九四・〇三五

上卷 安政三丙辰年一月八日ヨリ同丁巳年三月廿四日迄
下卷 安政四丁巳年三月廿五日ヨリ同閏五月一日迄

西南ノ役之際舊藩主ヨリ舊八家ニ諭告ノ書面寫等 (寫) 一〇九四・〇三八

竹澤御屋敷御門御門名目 文久元年二月御作事 (寫) 一〇九四・〇三六
所ヨリ書出シノモノ

天保元庚寅 御附方御用御親翰帳之内寫 (寫) 一〇九四・〇三五
年ヨリ年々

天保年間奥村榮實被仰出候趣家老共より申渡書之寫 (寫) 一〇九四・〇三三

道 中定書 (寫) 奥村榮通寫 一〇九四・〇三〇

年寄中見届候誓詞寫 (寫) 奥村榮通寫 一〇九四・〇二七

富山長門守跡相續一件 (寫) 一〇九四・〇三三

南岸見聞愚考錄 (寫) 奥村榮通寫 一〇九四・〇二七

二齋 和書 (寫) (編者自筆) 奥村尙寛(慎齋)編著 寛政四 一〇九四・〇三三
(獨猪・慎齋兩人ノ對話)

墓目被仰付候始終之覺等 (寫) 奥村榮通編 一〇九四・〇四一

第一册 弘化三丙午年四月墓目ならし初而相勤候節覺留

第二册 弘化四丁未年ヨリ墓目方手留

第三册 弘化四丁未年四月一三日ヨリ嘉永元戊申年五月朔日迄、靜之介殿御誕生墓目被仰付候始終之覺

第四册 嘉永元戊申年四月一五日ヨリ九月一日迄、亮年郎殿御誕生墓目被仰付候始終之覺

第五册 嘉永七甲寅年八月一五日ヨリ安政二乙卯年三月二日迄、陸姫様御誕生墓目被仰付候始終之覺

第六册 安政三丙辰年四月朔日ヨリ同丁巳年五月二日迄、茂松殿御誕生墓目被仰付候始終之覺

第七册 安政五戊午年五月一日ヨリ同六月己未年五月朔日迄、多慶若殿御誕生墓目被仰付候始終之覺

第八册 文久三癸亥年一〇月朔日ヨリ元治元甲子年四月三日迄、洽姫様御誕生墓目被仰付候始終之覺

第九册 文久三癸亥年一〇月朔日ヨリ慶應元乙丑年一〇月一五日迄、慰姫様御誕生墓目被仰付候始終之覺

第一〇册 慶應三丁卯年三月朔日ヨリ同年八月二日迄、坵姫様御誕生墓目被仰付候始終之覺

墓目覺書 (寫) 九一〇四・〇三七

第一册 文化六年直姫様御誕生墓目御用相勤候始終之覺 奥村榮實(爲實)

第二册 文化一二年寛姫様御誕生墓目之式相勤候覺

第三册 文化一四年正月他繼次郎殿誕生墓目一卷、附文政二年八月爲三郎殿引目

第四册 文政二年一二月ヨリ翌年五月まで、忠姫様、次姫様御誕生墓目相勤候覺(奥村榮實)

第五册 (一) 天保三年二月一八日より四月二七日迄、姫君様御懷妊ニ付墓目被仰付候覺書

(二) 天保三年四月一八日より五月二日迄、姫君様御懷妊ニ付墓目被仰付候覺書

(三) 天保三年五月二三日より、姫君様御懷妊ニ付引目被仰付候覺書

(四) 天保三壬辰二月一五日より翌年三月一三日迄、基五郎殿御誕生墓目被仰付候始終之覺 上ノ下

(一) 天保四年一月一日より五年二月四日迄、龜丸殿御誕生引目、姫君様御懷妊引目被仰付候始終之覺一 奥村榮實

(二) 天保五年二月五日ヨリ三月朔日まで、姫君様御懷妊引目被仰付候始終之覺一 奥村榮實

(三) 天保五年三月朔日より二五日迄、姫君様御懷妊引目被仰付候始終之覺三 奥村榮實

(四) 天保五年三月二六日より四月四日まで、姫君様御懷妊引目被仰付候始終之覺四 奥村榮實

(五) 天保五年四月五日ヨリ、姫君様御懷妊引目被仰付候始終之覺五 奥村榮實

備忘記 卷一至卷六 (寫) (編者自筆) 奧村尙寬(慎齋)編 六一〇九四・〇五七

備忘記 物産書、櫻井家秘傳書、神社略考 (寫) (編者自筆) 奧村尙寬(慎齋)編 一一〇九四・〇五八

福岡文平言上書寫 (寫) 福岡文平著 一一〇九四・〇五九

筆のまにまに (寫) (著者自筆) 奧村尙寬(慎齋) 一一〇九四・〇六〇

文化五年御城方御親翰御加筆物寫並御請且ヨリ弘化又被仰出之趣暨言上之類留帳書拔 (寫) 奧村榮通寫 一一〇九四・〇六四

文政四年 故丹後守様御叙爵爲御禮江戶表 (寫) 一一〇九四・〇二三

文政一 修壇次第帳 (寫) 一一〇九四・〇四四

文政一二年 日記 (寫) (著者自筆) 奧村榮通(從之) 至天保三年 文政二己丑年 第一冊 第二冊 文政一三庚寅年 第三冊 天保二辛卯年 第四冊 天保三壬辰年 四一〇九四・〇八一

本多安房守書翰 (寫) 一一〇九四・〇一九

前田家由來書控 (寫) 一一〇九四・〇二一

明治二己巳年一〇月二七日家來一統令布告候親翰等 (寫) 一一〇九四・〇二三

明治四辛未年正月極秘知事様御建白等之寫 (寫) 奧村榮通寫 一一〇九四・〇二〇

明治八年日記 (寫) 奧村榮通編寫 一一〇九四・〇一九

明治一〇年前前田家ヨリ巡查募集方勸誘狀及與村家ヨリ斷ノ書面下書 (寫) 一一〇九四・〇二七

於明試業辨書之内書拔 (寫) 奧村榮通寫 一一〇九四・〇一五

猶賢錄 卷一至卷四 同後集 (寫) (著者自筆) 奧村尙寬(慎齋) 五一一〇九四・〇一五

吉治公御印物等外不通 (寫) 一一〇九四・〇一五

奧村伊予守へ相渡紙面等七通 七

〇九四・一 宗教・哲學・教育

奧村河内守皇學再興の建議應答書簡 (寫) 狩谷竹柄 一一〇九四・一七

(一) 皇學再興ニ關スル意見書一通 狩谷竹柄自筆

(二) 皇學再興ノ建議ニ對スル奧村河内守ヨリ狩谷氏へノ回答一通 奧村河内守著 奧村榮通寫

(三) 皇學再興ニ關スル書簡禮狀、狩谷竹柄ヨリ奧村河内守宛一通 狩谷竹柄 一一〇九四・一六

嘉善錄 (寫) 奧村尙寬(慎齋)編 一一〇九四・一五

神世之語事竟安歌集 (寫) 奧村榮通寫 一一〇九四・一二

古易館神相度哉錄 (一度哉錄) 初篇・後傳・秘篇 (寫) 奧村尙寬(慎齋)寫 一一〇九四・一三

小松内大臣家訓 (寫) 平重盛編 奧村榮實(止齋)寫 一一〇九四・一四

護身法九字十字 (寫) 奧村榮實(止齋)寫 一一〇九四・一四

姚江釋毀錄 (寫) 南昀彭著 汪縉校 一一〇九四・一一

〇九四・二 法律・政治

京都江相詰居候御横目足輕ヨリ指上候旨に而月番勅使大原左衛門督殿言上書面寫 (寫) 一一〇九四・一六

迄以山森權太郎被渡下 劍神儀式圖本 (寫) 一一〇九四・一一

參勤交代在府等規定 (寫) 奧村榮通寫 一一〇九四・一九

散髮ノ件 (寫) 一一〇九四・二〇

使者廻三卷口傳之大事 (寫) 奧村尙寬(慎齋)寫 一一〇九四・二二

大嘗會便蒙上下 (寫) 荷田在滿(羽倉仁良齋)著 上卷奧村榮通寫 下卷奧村榮實寫 一一〇九四・二三

天長節考 (寫) (著者自筆) 狩谷竹柄 一一〇九四・二七

幕府正月元日二日拜禮式 (寫) 一一〇九四・二八

山鹿素水上書之寫 (寫) 山鹿高輔(素水)著 奧村榮通寫 一一〇九四・二五

律令要略上 (寫) 一一〇九四・二四

〇九四・六 兵事

甲陽軍艦末書結要本聞書 一至九 (寫) 奧村榮通 一一〇九四・六五

十役之抄 (寫) 有澤武貞(桃水軒) 七—〇九四・六一—二

樞密要論 乾坤 (寫) 有澤永貞(天淵) 二—〇九四・六一—一

中條流平法口決 (寫) 一—〇九四・六一—四

中條流平法傳受 卷一至卷二二卷 上・下 (寫) 二—〇九四・六一—三

兵制新書 上下 (寫) 山鹿高輔(素水)編著 奧村榮通(存心齋)寫 嘉 永 四 一—〇九四・六一—六

〇九四・七 藝術・諸技

能裝束附 (寫) 一—〇九四・七一—一

光高公小遠州の御尋之日記 市井家秘書 (寫) 奧村榮實(止齋)寫 一—〇九四・七一—二

〇九四・八 文學・語學

一休可笑記 卷一至卷二四 内卷四至卷一九欠 (寫) 二—〇九四・八一—二

奧村慎齋戲作集 上下 (寫) (著者自筆) 奧村尙寬(慎齋) 二—〇九四・八一—五

上 卷
安藤のならぬ身の上、漢國最はどけ口、けしきかよふて草木も萌生、あくひの用
そはなひ、辨任狐義命、うつてたすくも爛摩の鐵棒、赤面手づからもらけ、しか
られたんのでん、春のねとほけ、なますのしりをぶく、へ、志良怒記、けし
わぶさんげ、目茶目茶唐人の幻、良志意記、安本單記、吼嚇もどき、花辯知實話、
石靈問答、狂も嚇も春乃宵、京傳先生夜話、京傳もどき善玉(四編)、京傳戲作一
覽記(五編)、京傳實物醜書録(六編)、善玉乃神の告(七編)、善玉手ざくり(八編)、
善玉乃縁起の間違(九編)、善玉乃杜(十編)
下 卷

京傳一滴善玉、卵の發明、七福願成就、白從怪談、戲作大意、京乃傳にこととは
ん、七人狸々かけ坊子生醉、吼嚇もどき、廉病小説、夜はてらす螢の光、鐘の昔
ゆかし、山録、三翁話、遠耳鏡記、太鼓に驚く小僧の睡眠、人語何處やら、左右
問答、愚良々々佛咄、心の花も笑の筆、つもるも嬉しき如意乃玉、無題、化は是
人我のたまもの、貧福はそこから、白雪に示す、目出た目出たのくりこと草子、
無題、太黒の頭巾にひとし天狗の辨、丑年春の土佛の辨、亭客の信は舞入迄の寶

歌詠百人選 上・中 (寫) 海壽翁編、奧村榮 二—〇九四・八一—一

古言衣延辨 (寫) 奧村榮實(止齋)著 奧村榮通寫 一—〇九四・八一—三

佐野鼎ノ手簡 (寫) 一—〇九四・八一—四

(1) 佐野鼎サントイス島より指越候紙面寫 一通
(2) 佐野鼎サンフランシスコより重而差越候紙面寫 一通

〇九四・九 歴史・地誌

安政元年正月より殿中御沙汰書之内書抜 (寫) 奧村榮通寫 三—〇九四・九—八

第一冊 嘉永二年正月より一二月迄
第二冊 嘉永三年正月より同六年一二月迄
第三冊 安政元年正月より同二年一二月迄

異國船渡來一件書 (寫) 奧村榮通寫 一—〇九四・九—〇

長崎表正月九日風説一通、江戸正月二十八日亥刻出二月四日大阪着一通、御留守中
異國船近海到來ノ折手配ノ件一通、異國船渡來手當ノ意見一通(岡田條之佐)、異
國渡來ニ付平常ノ訓練方ノ件一通、ロシア船渡來海防等ノ件一通、魯西亞船渡來
ニ付見聞ノ次第大ニ申止候一通、嘉永六年七月魯西亞船長崎入港願之寫一通

御小納戸入江清兵衛殿水戸侯に上書之寫 (寫) 奧村榮通寫 一—〇九四・九—五

海防嗟嘆秘言 (寫) 奧村榮通寫 一—〇九四・九—六

嘉永元年 京都御沙汰書之内書抜 (寫) 奧村榮通寫 一—〇九四・九—七

元治元年長州征討ニ關スルモノ (寫) 一—〇九四・九—三

水府老君御密書 (寫) 奧村榮通寫 一—〇九四・九—三

長州公窺書等寫 (寫) 奧村榮通(存心齋)寫 文 久 二 一—〇九四・九—二

珍説要秘録 卷一至卷四 (寫) 奧村榮通寫 文 政 一 一 一—〇九四・九—一

天朝に列藩士より申出云々之寫 (寫) 奧村榮通 一—〇九四・九—三

西丸御小姓組酒井對馬守殿組山本元七郎殿上書之寫 (寫) 一—〇九四・九—四

本朝通鑑鈔 (寫) 奧村尙寬(慎齋)編 一—〇九四・九—九

水戸筑波山騷動ノ件 (寫) 奧村榮通寫 一—〇九四・九—一

〇九五 河野文庫

〇九五・〇 總記 附郷土志料

淺井繩手戰記 (寫) 牧忠輔(橘昌左衛門) 享 和 三 一—〇九五・〇—一

穴水古城圖 (寫) 一—〇九五・〇—二

石川郡松任城跡圖 (寫) 24.2 X 35.7 河野通義寫 文化一三 一—〇九五・〇—三

御書籍之目錄 (寫) 奥村榮通寫 一〇九四・〇一三六

黒掻合塗大筆筒入品々々目錄 (自筆) 奥村榮通編著 一〇九四・〇一二九

書寫之品々々日數等覺 (自筆) 奥村榮通編著 一〇九四・〇一二〇

書籍目錄 (寫) 一〇九四・〇一二三

書類道具等目錄 (自筆) 奥村榮通編著 一〇九四・〇一二三

明治十三
年改正
藏書目錄 第一册至
第三册 (寫) 奥村榮通編著 一〇九四・〇一二五

除物書目 (自筆) 奥村榮通編著 一〇九四・〇一二六

讀候經書雜本等記 (自筆) 奥村榮通 天保五 一〇九四・〇一二七

〇九八 津田文庫

新刊校正用字格 卷三 伊藤長胤 須原屋茂兵衛等 享保一 九 一〇九六・八四三

特一〇 大島文庫

特一〇〇 總記 附郷土志料

淺井嘯迫合附淺井嘯戰歿九士之碑 (寫) 萬卷昌廣 天明二 一特一〇〇・〇一〇

醫學館書目 (寫) 一特一〇〇・〇一〇六

明治六年 石川縣小學教則 (寫) 一特一〇〇・〇一〇五

市橋侯猷備書目錄・圓光寺藏書目錄・小田氏藏書目錄 (寫) 一特一〇〇・〇一〇四

佚存叢書 林述齋(天瀑)編 一一特一〇〇・〇一〇三

第一佚 街 古文孝經 (漢)孔子傳 命 五行大義 卷一 (隋)蕭吉 將 五行大義卷二 (同) 辭 同 卷三 (同) 國 同 (同) 非 同 (同)

才 臣 軌 卷上(唐)武后(嬰) 忝 同 卷下(同) 類 樂書要錄 卷五・六・七 臣 兩京新記 卷三(唐)章述 侍 李嶠雜詠 上下(李 鄭)

第二佚 左氏蒙求 (元)吳化龍

井口濟より大島 善太郎宛の書翰 (自筆) 井口濟(犀川) 明治一三 一特一〇〇・〇一〇九

越中古城記 (寫) 一特一〇〇・〇一〇五

演繁露目錄 (寫) (宋)程大昌(泰之) 一特一〇〇・〇一〇六

大坂兩御陣加州之士討死之様子等 (寫) 有澤武貞編 享保一二 一特一〇〇・〇一〇七

大坂兩御陣加州之士討死之様子 大坂兩御陣加州之士討死之様子孫有無 下詞堂靈記 一特一〇〇・〇一〇八

大坂兩度軍加州之士戰死等覺 (寫) 一特一〇〇・〇一〇九

大島贊川肖像並題七老先生宴會圖三首 一特一〇〇・〇一〇七

御行列次第 (寫) 一特一〇〇・〇一〇六

御定書 (寫) 御作事所 御普請會所 割場 早特一〇〇・〇一二

一、御城中 御普請會所 割場 二、會所 三、行狀 儉約 拜借銀

御仕法帳追加 (自筆) 大島桃年(柴垣) 天保九 一特一〇〇・〇一〇三

小瀬家譜附白石先生書簡六通 (寫) 一特一〇〇・〇一〇二

賀州淺井戰圖覺書 (寫) 丹羽長重 文政一二 一特一〇〇・〇一〇九

學校私考 (自筆) 大島桃年(柴垣) 天保八 一特一〇〇・〇一〇六

學校向留帳 (自筆) 大島贊川(維直)編 寛政四 一特一〇〇・〇一〇九

享保十九年加陽金府武士町細見圖 (寫) 有澤武貞編 天明八 一特一〇〇・〇一〇七

希顏堂雜種 (寫) (一名加陽府中細見圖譜, 加陽武士町細見之圖) 九特一〇〇・〇一〇五

日本酒

金澤市酒造組合編

昭和一一年 編者

一〇八三—一〇八六

日本赤十字社石川支部要覽

昭和一一年 一月調

同支部編 昭和一一

一〇八六—一〇八四

能作物帳 (寫)

傳佐々木泉支筆

好明和五

一〇八七—一〇八五

軒葉集 (寫)

元

好明和五

一〇八八—一〇八五

野口之布先生勤王事蹟

八田 健一

加越能維新勤王記念
標保存會 昭和一一〇

一〇八二—一〇八〇

同 右

野島和七郎親安

野島 二郎

昭和一一

一〇八九—一〇八八

能七尾城主畠山記

小田吉之丈編

昭和一一

一〇八九—一〇八六

信連公と長谷部神社

石川縣鳳至郡
穴水町役場編

昭和一一〇者

一〇八九—一〇八四

增補梅室發句集

梅室(櫻井能充)著
集雅堂兒遊菴

嘉永三堂

二〇八八—一〇八五

梅室剛吟藁 上下

年風(梅田九榮)編

天寶九堂

二〇八八—一〇八九

拙金事歴

輪島縣器開業沿革書 (寫)

昭和一一

一〇八七—一〇八七

風光の穴水

穴水町名所繪はがき
穴水町役場編

石川縣鳳至郡
昭和一一〇者

一〇八九—一〇八三

觸 留

自嘉永元年
至明治二〇年 (編者自筆)

關口開編

三〇八九—一〇八三

文久二年京都江戸風説書

(編者自筆)

關口開編

一〇八九—一〇八〇

寶曆銀札天明初年重教公への建白書

昭和一一〇

一〇八二—一〇八九

北陸五十年史

池上綱他郎編

北陸女學校
昭和一一

一〇八一—一〇八〇

北陸遊勝紀詩 (寫)

渡邊霞亭

昭和一一

一〇八一—一〇八四

北國女

渡邊霞亭

昭和一一

一〇八一—一〇八四

敦々庵音琴加點狂歌集 (寫)

昭和一一

一〇八一—一〇八三

步兵第七聯隊

明治二一七八年征清紀要

步兵第七聯隊編

一〇八六—一〇八三

堀越左源次狂歌 (寫)

堀越左源次(勃々庵)

明治四三

一〇八一—一〇八五

〔本多彌一等〕十二士碑 (幅) 豊島毅(洞齋)著
橋間遊(敬)書

一〇八九—一〇八六

明治五年(壬申)石川縣布達綴

一〇八二—一〇八四

明治六年會計ニ關スル諸達伺書 (寫)

一〇八三—一〇七一

新名物往來・國づくし

一〇八四—一〇八九

明峰大智尊皇遺芳 復寫(自筆)

館八平(殘翁)編

昭和一一

山中町

中川久作編

山中町青年團
大正一一二

一〇八九—一〇八四

要年代記・和書年表次第記・服忌令

三ヶ屋五郎兵衛

一〇八二—一〇八九

横阿武松縁之助

橋本脩次編

石川縣鳳至郡鶴川
村役場 昭和一一

一〇八九—一〇八七

〇九〇 特殊文庫

稜堂文庫 奥村文庫
津田文庫 松宮文庫
大島文庫 金陽文庫

大島文庫目録

大島金澤市立圖書館編

昭和一一者

一〇二二—一〇二七

學要問答 (寫)

奥村尙寛(慎齋)

昭和一一者

一〇二四—一〇一九

金陽文庫目録

大島金澤市立圖書館編

昭和一一者

一〇二二—一〇二七

聖學自在 卷上・中・下 (寫)

新井白蛾(祐登)著
奥村榮通編

文政二〇

〔津出政太夫〕先祖由緒並一類附帳 (寫)

津田政太夫編

元 治 元

能遊二記

寺島藏人配所記
峨山道再往記

黒本植(稜堂)

稜堂先生叢書刊
行會 昭和一一

一〇九二—一〇五五

花守集 正續

黒本 植

稜堂先生叢書刊
行會 昭和一一

二〇九二—一〇八六

卑陋瑣言 (寫)

奥村尙寛(慎齋)著
鶴見憲勝寫

寛 政 四

一〇九四—一〇八八

松宮助之丞先生履歴 (寫)

奥村榮通編

昭和一一〇

一〇九三—一〇三三

和漢詩歌等拔書 (自筆)

奥村榮通編

昭和一一〇

一〇九四—一〇八六

○九一 稼堂文庫 ○九四 奧村文庫 ○九七 雅堂文庫 特一〇 大島文庫 特一二 斯波文庫

五四

大和豐秋津島卜定記 (寫)

冊數—分類—番號
一〇九二・九四八六

立齋先生標題解註音釋十八史略 (一名十八史略音釋) 卷一至七

(明)陳殿王逢点校 萬岡治 七左衛門 二 七〇九・九四七七

*兩漢刊誤補遺 卷一〇 吳仁傑(南英)著 松村兵衛等 元 三〇九・九四六三

*歷史綱鑑補 (首卷・卷一至三九) (內卷二九至三九欠) (明)袁黃(坤儀)編 一九〇九・九四四一

(一名 古本歷史大方綱鑑補)

*歷代名臣言行錄 卷一至二四 滑・朱桓(拙存)編 嘉慶 七 三六〇・九一九三九七

*校老松堂日本行錄 (朝鮮)宋希環(老松堂)著 谷村一太郎・小川壽一編 昭和 八 一〇九・九四四四

*和州芳野山勝景圖 貝原益軒 柳正徳 三軒 一〇九・九四四二

○九四 奧村文庫

古今和歌集 卷一至卷二〇 (寫) 六〇四八—七

○九七 雅堂文庫

小笠原流馬道之書 無明一卷書 摺捲曲尺之次第 (寫) 寛永 一 二二〇七・六一六

奧村内記樣摹目御傳授之一卷 (寫) 一〇九二・〇一三三

加賀藩古文書例 (寫) 一〇九二・〇一六

加藤氏備立之寫 (寫) 一〇九二・六一六

不免軍役内習 (寫) 有澤武貞(惣藏) 一〇九二・六一六

軍法書 (寫) 有澤永貞 一〇九二・六一六

十一段太鼓の事 (寫)

冊數—分類—番號
有澤永貞筆 元 祿 八一〇九七六—一四四

徒鞍流乘方等 (寫) 前田直躬自筆 一〇九七六—一三五

百官抄略要覽私稿 (寫) 青山九兵衛(知親) 一〇九七二—一

鎗ニ關スル戦法 (寫) 前田直躬等筆 寛保 元 一〇九七六—一五

特一〇 大島文庫

大島贊川先生之碑 拓本 松崎復著 昭和 一 一一特一〇・七二五

特一二 斯波文庫

大阪京城大連間 大阪福岡木浦上海間 試驗航空記念寫真帳 日本航空株式會社編

昭和 一 者 一特二・四一七

同 昭和 一 者 一特二・四一七

日本都市年鑑 一、昭和六年 東京市政調查會編 昭和 六 者 一特三・〇一六

臨時產業合理局生產管理委員會報告 臨時產業合理局編 日本商工會議所 一特三・四一七

一、昭和五 生產管理委員會提案の根本趣旨

二、昭和五 從業員互換制度

三、昭和五 企業者間ノ相互啓發

四、昭和六 燃料節約

Bacon(F) The essays or counsels civil and moral. with notes and a glossary [特二・六—一三]

by L. Kellnor. (Tanchnitz edition collection of british and american authors vol.4526) Leipzig. 1919.

League of Nations, Economic and Financial Section. International Economic Conference. (Geneva, May, 1927) Documentation. 5 vols. [特二・六—一三]

一〇九二・六一六